



国の天然記念物

イタセンパラを守ろう

イタセンパラはどんな魚？

イタセンパラは、河川敷内のワンドに生息するタナゴの仲間で、イシガイやドブガイの中に卵を産むという特徴を持っています。国の天然記念物、国内希少野生動植物種、国のレッドリスト絶滅危惧ⅠA類に指定され、木曽川でも絶滅が危惧されています。**密漁**、生息環境の悪化、**外来魚**（タイリクバラタナゴ、ブルーギル、ブラックバス等）の影響が主な減少要因だと考えられています。

「木曽川イタセンパラ保護協議会」は、

地域住民みなさんの協力を必要としています

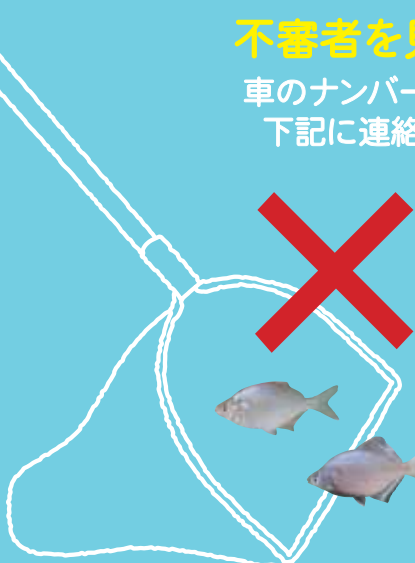
密漁者の特徴は？

- 普段見かけない怪しい人や車
 - 他県ナンバーに注意
 - 網を持参し、胴長を着用
- ワンドで生物（魚や貝）を採取している

※ワンド…本川のそばにある大きな水たまり

不審者を見かけたら？

車のナンバーをチェックして、
下記に連絡をしてください



**密漁は
犯罪です！**

※ 1年以下の懲役または
100万円以下の罰金
(種の保存法)



「木曽川イタセンパラ保護協議会」の取り組み

1
密漁対策に
取り組んでいます

2
希少種に関する啓発、
環境教育活動をおこなっています

3
外来種駆除をおこなっています

「木曽川イタセンパラ保護協議会」
関係機関

岐阜経済大学 地域連携推進センター
愛知県 環境部 教育委員会 警察本部
岐阜県 環境生活部 教育委員会 警察本部
環境省 中部地方環境事務所
文化庁 文化財部(オブザーバー)

独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター
一宮市 教育委員会
羽島市 教育委員会
国土交通省 中部地方整備局河川部
岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ(オブザーバー)

イタセンパラの特徴

●分布

イタセンパラは日本固有種で、現在は琵琶湖淀川水系、濃尾平野、富山平野に分布しています。これらの地域個体群は遺伝子組成が異なっていることがわかっています。濃尾平野ではかつて、多くの水系にイタセンパラが生息していましたが、現在は木曽川水系のみで確認されています。

●形態

イタセンパラは、平べったく、四角い体形をし、大きなヒレを持つのが特徴の小魚です。成魚は10cm程度の大きさになります。産卵期である秋になると、雄の体には鮮やかな紫紅色の婚姻色が表れ、雌の腹部からは産卵管と呼ばれる細い管が伸びます。イタセンパラは、外来魚であるタイリクバラタナゴと体形が似ています。しかし、タイリクバラタナゴの幼魚には背ビレ中央に黒点があり、成魚には体側中央部に明瞭な黒色や青色の縦線があり、雄の婚姻色はバラ色であるという特徴から、イタセンパラと見分けることができます。

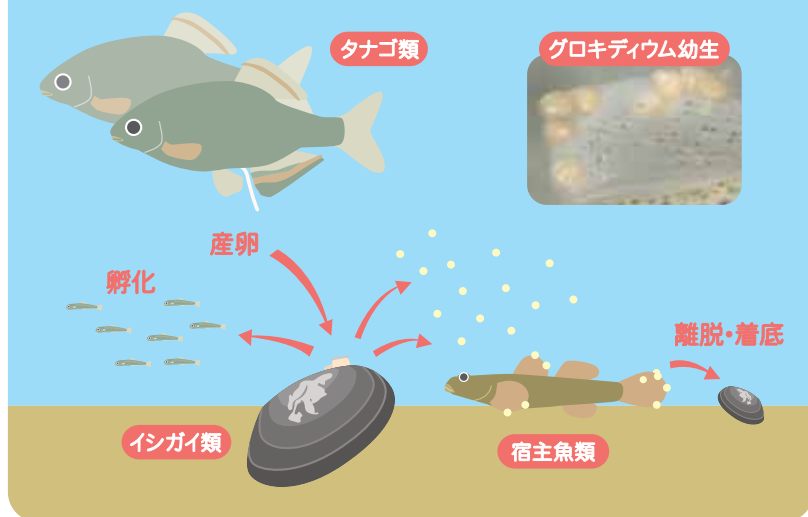
●生態

イタセンパラは、河川敷内のワンド(本川のそばにある大きな水たまり)に生息しています。産卵期である秋になると、イシガイやドブガイなどの二枚貝の中に卵を産みます。秋から翌春にかけて仔魚は二枚貝の中で過ごし、その後、貝から泳ぎ出て、岸際近くの浅い水辺で育ちます。イタセンパラの成長は非常に早く、生まれた年の秋には成熟して産卵します。寿命は、1～2年とされています。

イタセンパラをはじめとするタナゴ類と二枚貝は、密接な関係にあります。そのため、タナゴ類を保全する際には、二枚貝の生態も知る必要があります。二枚貝の卵はグロキディウム幼生になるまで親貝のエラの中で過ごします。その後、グロキディウム幼生は、ヨシノボリなどの宿主魚類のエラやヒレにくっついて成長し、やがて幼貝になると宿主魚類から離れて水底で生活します。



イシガイ類との共生関係



イタセンパラの稚魚



木曽川にみられるワンド

本チラシへのご意見・ご質問は
右記へご連絡ください。

環境省 中部地方環境事務所
名古屋市中区三の丸2-5-2 〒460-0001
TEL 052-955-2139
<http://chubu.env.go.jp/>

国土交通省 木曽川上流河川事務所
岐阜市忠節町5-1 〒500-8801
TEL 058-251-1321
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

イタセンパラの密漁・販売など
違法行為を見つけた場合は、
最寄りの警察又は右記へご連絡ください。

愛知県警察本部 生活安全部 生活経済課
名古屋市中区三の丸2-1-1 〒460-8502
TEL 052-951-1611

岐阜県警察本部 生活安全部 生活環境課
岐阜市藪田南2-1-1 〒500-8501
TEL 058-271-2424